

学校番号	学 校 名
2 0	池田高等学校

令和4年度教育指導の重点及び学校経営計画

学校教育目標	校訓『向学・友愛・錬磨』の下、明るく規律ある学校生活を通して、「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな、心身ともに健全な人間形成を期すとともに、持続可能な社会の発展に貢献できる人間の育成に努める。		
スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー(GP)	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー(CP)	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー(AP)
	① 身につけた知識やスキルを活かして、自立(自律)し、自分で考え、困難に立ち向かう努力ができる生徒 ② 個性や知性を武器に、環境の変化を恐れず、自信をもって挑戦できる生徒 ③ ユネスコスクールの理念を誇りに思い、持続可能な地域・社会・未来の実現に向けて、多様な人々と協働しながら、地域のリーダーとして行動できる生徒	① 生徒の能力や学習状況等に応じて常に工夫改善し、生徒自らが学力の定着と向上を図っていく探究的な授業を実施します。 ② 培った知識・スキルを活かし、主体・協働的な活動を通じて、キャリアステージにつなげる「総合的な探究の時間」を実施します。 ③ ユネスコスクールとしてESDを推進し、グローバルな視点を持ちながら、地域と協働する実践的な探究活動を実施します。	① 将来の夢や目標に向け、自分の基礎を築き、自分の強みを伸ばすために、探究的な学びに挑戦したい生徒 ② 自身をしっかりと見つめ、さらに多様な他者との対話を通して、考えを広め深める体験がしたい生徒 ③ ユネスコスクールの理念に賛同し、福祉・環境・国際等の分野で活躍したい生徒
教育指導の重点 (今年度の具体的な重点目標)	重点目標の達成に必要な具体的取組、方策		達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
1 (教育課程・学習指導) 生徒の主体的な学習態度と教員の授業力向上を図ることで、確かな学力の伸長を目指すとともに総合的な探究の時間を中心に全ての授業でESDを推進します。	①身に付けた情報活用能力をもとに、生徒が個別最適化された学びが行えるよう授業内容・方法を研究・実践します。 ②探究活動を中心に外部教育プログラムを活用し、自治体や教育機関等の多様な人々と協働することで地域課題を自分事として考え行動する力を育みます。 ③コース選択及び学校設定科目・教科に関するガイダンスを充実し、生徒の個性や進路希望に応じた学びを充実させます。		①県ICT活用調査で肯定的評価80%以上 ②授業評価で肯定的評価80%以上 及び 生徒の意識・行動変容に関する調査 ③科目ガイダンス等の満足度調査
2 (進路指導) 学年ごとに積み上げる確かなキャリア教育を通して、学習意欲の喚起と学力の向上に努め、生徒の多様な進路希望を支援します。	①平常補習・夏季補習、スタディサプリを活用し、確かな学力をつけさせます。 ②校外模試の結果分析を行い、地域と連携しながら、一人一人に合った進路指導教科指導を行い、進路実現に導きます。 ③小中高と連続したキャリアパスポートを活用し、在学中の活動と成長を記録し自己肯定感を高めさせることで、進路選択に役立てます。		①スタディサプリ活用率100%、到達度テストの活用 ②補習参加者数と出席状況、アンケート調査満足度80%以上 ③キャリアパスポートを活用し「一年間の振り返り」で肯定的評価80%以上
3 (生徒指導) 生徒の自己指導能力・規範意識を向上させることで安心安全な環境を整備し、挑戦を核とした学校文化を醸成します。	① 全職員による遅刻防止、身だしなみ、交通安全、情報モラル指導等の生活指導を充実し、18歳成年を見通して自律心を身につけさせます。 ②専門家の助言を活用するなど、不登校傾向の生徒に寄り添った教育相談を充実させ、チームで丁寧な対応にあたります。 ③生徒会やMSリーダーズ、ボランティア部を中心に地域と協働し、ボランティア活動を通して、生徒の意識と行動の変容を図ります。		①遅刻数、問題行動件数、いじめの認知件数の増減 ②長期欠席生徒数の増減、相談室利用件数の増減 ③MSリーダーズ等のボランティア活動状況 及び 生徒の意識・行動変容に関する調査